

地理 B 学習指導案

日時：2007 年 7 月 27 日（金）

場所：教育センター

学級：イマージョンクラス

授業者：知花エリ子

教科書：「新詳地理 B」（帝国書院）

1 単元名

第 2 章 グローバルに結びつく現代世界

第 1 節 現代世界の国家と国家群

2 単元の目標

- (1) 国家の三要素や国家のさまざまな形態について理解させる。
- (2) 国境をめぐる諸問題について考察させる。
- (3) 国家間の政治的、経済的な結びつきの進展について考察させる。

3 単元の指導計画

- (1) 現代世界を構成する国家・・・1 時間（本時）
- (2) さまざまな国境・・・1 時間
- (3) 国と国との結びつき・・・1 時間

4 単元設定の理由

(1) 教材観

昨年、モンテネグロ共和国の独立により、日本政府が承認する独立国家は 193 カ国となった。急速に進むグローバル化の中で、各国が協力し平和共存するためにはそれぞれの違いを理解し尊重することが必要である。本単元では現代世界がどのように構成され、またそれぞれの国々がどう結びついているかを学んでいく。

(2) 生徒観

生徒たちは世界にはさまざまな国家が存在することを大まかに理解しているが、具体的な国家形態の違いや国家の成立要件については詳しく分かっていない。

(3) 指導観

授業は英語でのみおこなうため、生徒は専門的用語を含む基本的単語の予習をおこなう必要がある。事前に学習内容に関する単語リストを配布し、授業の中でも適宜用語の意味について確認する。また、パワーポイントで視覚教材を多く用いてわかりやすい授業をこころがけ、授業内容について関心を持たせ、本時の目標が達成できるよう指導する。

5 本時の学習指導

(1) 主題名 「現代世界を構成する国家」

(2) 本時の目標

- 1, 国家は規模や構成によって多様な形態があることを理解できる。
- 2, 国家は「主権」「領域」「国民」の三要素によって成立していることを理解できる。

(3) 本時の展開

展 開	教師の活動	生徒の活動	指導上の留意点	備 考
導入 (5 分)	・出席確認 ・本時の主題、目標について説明する。	・本時のテーマや目標について確認する。	・本時で使う英単語の意味を事前に学習させ理解させておく。	(パワーポイント) 本時の主題
展開 (40 分)	①世界の国々についてのクイズを出題する。 (国旗あてクイズ)	考えて、質問に答える。	質問に答えながら授業への関心を高めるようにする。	(P P) クイズ

	②世界にはさまざまな形態の国家があることを理解させる。 <構成による違い> ・中央集権国家と連邦国家 <統治形態による違い> ・君主国と共和国 ③国家の三要素（領域、主権、国民）について理解させる。 ④国家と主権 ・独立国と非独立地域の違いについて考えさせる。 発 問 「独立するということは何を取り戻すことだろうか」 「香港やプエルトリコ、グアムなどは国家といえるだろうか」 ⑤国際連合の役割について説明する。	地図帳からさまざまな国名を探す。 ワークシート 1 記入 考えて、質問に答える。 ワークシート 2 記入 （グループワーク） 非独立地域を調べる。	その国の正式名称をみれば国家の統治形態がわかることに気づかせる。 国家の主権とは何か、生徒に考察させる。 国際連合は多様な国家が平和共存するために組織されたことを理解させる。	地図帳 (PP) 国家の三要素 (PP) 香港 グアム 世界地図 地図帳 (PP) 国際連合本部
まとめ (5分)	・本時で学習したことについてまとめる。			